環境経営レポート

2024年度

対象期間：2024年4月～2025年3月

発行日　2025年6月26日

株式会社　細田商店

―目　次―

ページ
１．組織の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（１）事業所名及び代表者名　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（２）所在地　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（３）法人設立年月日　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（４）資本金　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（５）環境管理責任者氏名及び連絡先　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（６）組織図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
２．事業の概要、事業規模等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（１）業許可の内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（２）施設の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
①運搬車両　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
②その他車両　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
③収集運搬積み替え保管施設（川越市古谷本郷下組字川崎1568番1、1570番） 2
④処理分別場施設概要（川越市古谷本郷下組字川崎1568番1、1570番）・・・ 2
⑤処理工程図（処理分別場）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（3）事業の実績　（2023年度（2023年4月～2024年3月まで））・・・・・ 3
①産業廃棄物収集運搬量（単位 ﾄﾝ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
②産業廃棄物中間処理量（単位 ﾄﾝ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
③一般廃棄物収集運搬量（単位 kg）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（4）産業廃棄物処理料金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（5）事業規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（6）環境への負荷状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
３．対象範囲（認証・登録範囲）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
４．環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
５．環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
６．環境経営活動計画（主な施策）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
７．環境経営目標の実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
【評価】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
１　二酸化炭素排出量の削減（収集運搬車両の運搬量当り燃費向上）；・・・・・ 7
２　廃プラリサイクル量の拡大　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
３　木くずリサイクル量の拡大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
４　自社排出の廃棄物の削減；・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
５　水使用量の削減；　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
８．環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容・・・・・・ 8
9．2025～2027年度　新3ヵ年計画環境経営目標　・・・・・・・・・ 8
１０．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに
違反、訴訟等の有無・・・・ 9
１１．代表者による全体の評価と見直し・指示・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
１２．その他の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

・別　表　産業廃棄物処理業等許可情報一覧表・・・・・・・・・・・・・・・ 10

１．組織の概要

(1)事業所名及び代表者名

事業所名：株式会社　細田商店

代表者名：代表取締役社長　細田元尉

(2)所在地

本社：〒330-0854　埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5　ソニックシティビル２９F

処理分別場：〒350-0002　埼玉県川越市古谷本郷1570番地

(3)法人設立年月日

平成　６年 ７月１２日（有限会社 細田商店）

平成２２年 ２月２３日（株式会社 細田商店）

(4)資本金

1,000万円

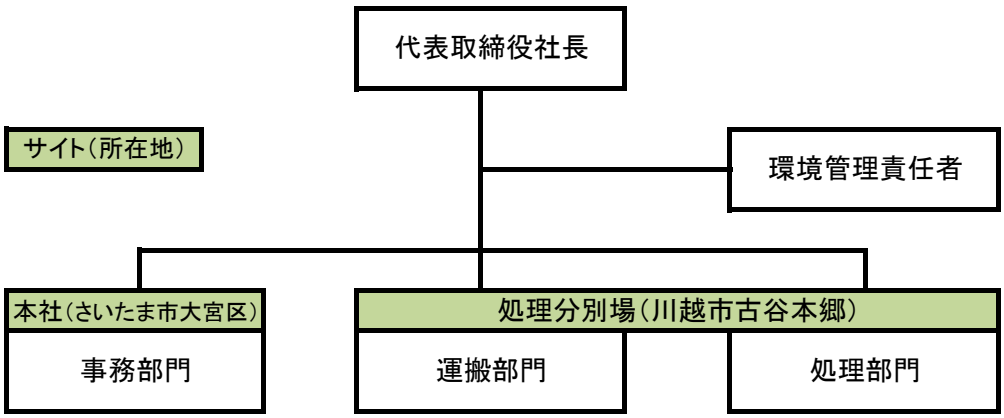
(5)環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者：西田　記子

連絡先：埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5　ソニックシティビル２９F

(電話)　050-3137-6424　　(FAX)　050-3588-6351

(6)組織図



担　当	役割・責任・権限
代表者	・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の決定　・環境管理責任者の任命 ・代表者による全体の評価と見直し ・必要な経営資源の投入
環境管理責任者	・環境経営システムの確立　・環境経営システムの実施 ・環境経営システムの維持　・EA21の活動状況報告
各部門	・環境経営計画の実施　・月別部門データの集計 ・問題点の把握と是正の実施

２．事業の概要、事業規模等

(1)許可の内容

産業廃棄物処分業（中間処分）、産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業、解体工事業、第一種フロン類回収業、廃棄物再生事業につき、それぞれ許可・登録あり。詳細については巻末別表に示します。

(2)施設の状況

①運搬車両

名　称	保有台数
10トン大型	1
4トンコンテナ	5
パッカー（2トン、4トン）	2
3トンコンテナ	1
2トンクレーン	1
2トンコンテナ	2

②その他車両

名　称	保有台数
後方小型旋回油圧ショベル	3
フォークリフト	2
ミニホイールローダー	1

③収集運搬積み替え保管施設（川越市古谷本郷下組字川崎1568番1、1570番）

産業廃棄物の種類	保管面積	保管高さ
木くず（20cm×20cm以下の角材で再生利用可能なものを除く。）以上１種類	18㎡	1.5m
金属くず 以上1種類	18㎡	1.5m
がれき類　以上１種類	20.24㎡	1.125m
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（陶磁器くずに限る）以上1種類	20㎡	1.5m
繊維くず（廃畳に限る） 以上1種類	12㎡	1.5m（7㎥コンテナ1台）
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（廃石膏ボードに限る） 以上1種類	32㎡	1.5m（7㎥コンテナ3台）

④処理分別場施設概要（川越市古谷本郷下組字川崎1568番1、1570番）

処理施設

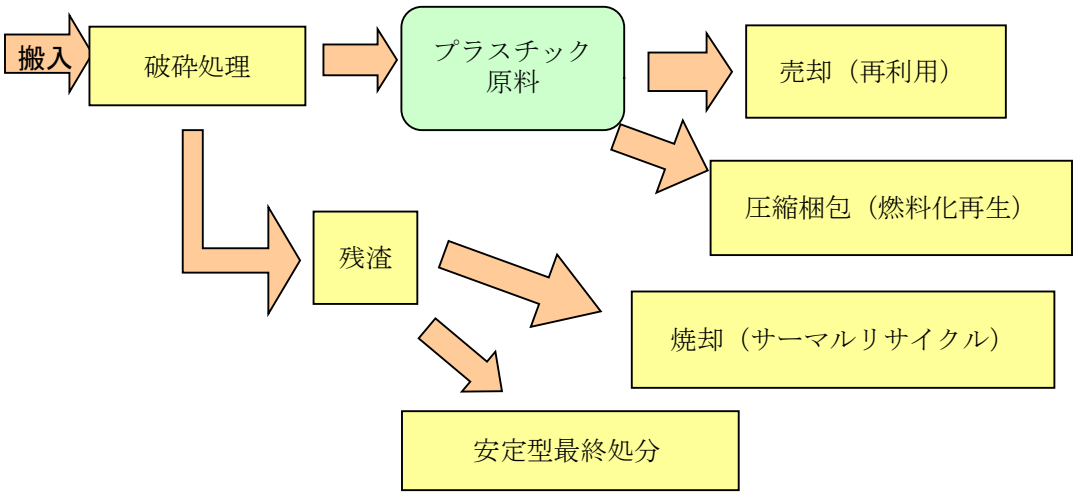
施設の種類	処理能力	産業廃棄物の種類	許可年月日
破　砕	2.8㌧／日（８時間）	廃プラスチック、以上１種類	平成14年4月5日
切　断	4.6㌧／日（８時間）	木くず（20cm×20cm以下の角材で再生利用可能なものに限る。）、以上１種類	平成19年1月16日

保管施設

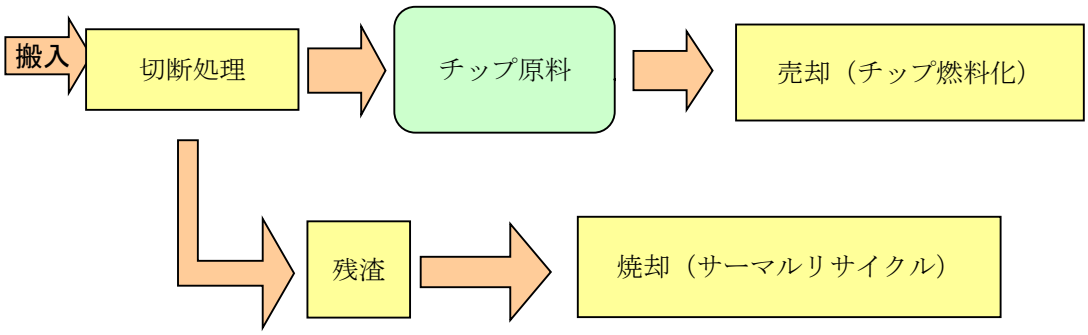
廃棄物の種類	保管面積	保管高さ
廃プラスチック、以上１種類	18㎡	1.5m
木くず（20cm×20cm以下の角材で再生利用可能なものに限る。）、以上１種類	20㎡	2.5m

⑤処理工程図（処理分別場）

【廃プラスチック】



【木くず】



（3）事業の実績（2024年度（2024年4月～2025年3月まで））

①産業廃棄物収集運搬量（単位 ㌧）

年度	2022年度	2023年度	2024年度
合計	4,081	4,724	4,707

②産業廃棄物中間処理量（単位 ㌧）

廃棄物種類等	処分方法	2022年度	2023年度	2024年度
廃プラ	破砕	777.3	788.8	814.7
木くず	切断	807.3	733.8	682.7

③一般廃棄物収集運搬量（単位 kg）

年度	2022年度	2023年度	2024年度
合計	10,700	11,180	9,630

(4) 廃棄物処理料金

廃棄物の種類、量、地域によって、金額は異なりますので詳細は、営業担当へご連絡下さい。

電話番号：050-3137-6424

(5)事業の規模

2024年度（2024年4月から2025年3月まで）

年　度		2022度	2023度	2024度
売上高(百万円)		275	334	395
従業員(人)※1		17	17	17
敷地面積（㎡）	本　社	262	262	262
	処理分別場	1,879	1,879	1,879
	合　計	2,141	2,141	2,141

※1　従業員数は役員を含む。

(6)環境への負荷の状況

項　目		単位	2022年度	2023年度	2024年度
総エネルギー	購入電力	kWh	42,923	36,875	32,429
	軽油	ℓ	51,402	53,210	55,211
	ガソリン	ℓ	2,896	4,200	1,983
	灯油	ℓ	190	0	0
	ＬＰＧ	kg	2	0	0
水資源投入量	上水	㎥	218	164	133
	地下水	㎥	1,536	1,698	1,667
二酸化炭素排出量※1	二酸化炭素	ﾄﾝ-CO_2	159	164	162
受託した廃棄物量	収集運搬量	ﾄﾝ	4,081	4,724	4,707
	中間処理量	ﾄﾝ	1,585	1,523	1,497
	うち再資源化等量	ﾄﾝ	955	842	844
	中間処理後の産廃の処分量(最終処分;委託)	ﾄﾝ	1,585 (630)	1,523 (681)	1,497 (654)
	一般廃棄物収集運搬量	kg	10,700	11,180	9,630
一般廃棄物等総排出量	単純焼却	kg	480	480	480
産業廃棄物	再生利用量	ﾄﾝ	955	842	844
	最終処分量	ﾄﾝ	692	681	654
総排水量	公共用水	㎥	1,536	1,698	1,667
	下水道	㎥	218	164	133
化学物質使用量※2	なし	kg	0	0	0

※1　電力の二酸化炭素排出係数は、環境省が令和5年7月に公表した電気事業者別排出係数の調整後排出係数を使用しました（下記参照）。
本社(さいたま):東京電力エネジーパートナー㈱　0.451kg-CO2/kWh
処理分別場(川越):(株)Looop 0.482　kg-CO2/kWh

※2　PRTR制度対象物質としての化学物質の使用はありません。

３．対象範囲（認証・登録範囲）

対象事業所：本社、処理分別場

対象事業活動：一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処理業、
廃棄物再生事業

４．環境経営方針

株式会社　細田商店

環　境　経　営　方　針

≪基本理念≫

株式会社細田商店は、産業廃棄物の収集運搬・処理業務を行う企業として、顧客に対し安心して任せられる企業を目指し、廃棄物の適正処理、分別によるリサイクル事業に取り組みます。またさらに地元に信頼され、地域社会に貢献する法令遵守、環境優先並びに人にやさしい企業を目指します。

≪行動指針≫

１.具体的に次の項目に取り組みます。

① 収集運搬車両、重機類の使用による燃料や電力を節約し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。

② 廃プラ等の再生資源の受入量拡大をはかり、リサイクル事業を推進します。

③ 分別の徹底により、当社の排出する廃棄物の削減に努めます。

④ 節水の徹底により、水資源使用の節約に努めます。

２.環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

３.環境経営方針及び環境経営活動を全従業員へ周知し、環境経営活動の継続的改善に努めます。 また、活動内容は「環境経営活動レポート」にまとめ、広く公開します。

2008年6月1日制定
2022年7月1日改訂7
株式会社 細田商店
代表取締役社長　細田元尉

5．環境経営目標

2021年度の実績を踏まえ、2024年度までの中期（3ケ年）の環境目標を決めましたが、昨年の二酸化炭素原単位と木くずリサイクル量拡大テーマの目標未達の結果を受けて、下表の通り目標値を見直しました。

2022～2024年度　環境経営目標　　改訂：2023年4月21日

No.	環境経営目標項目	基準値 (2021年度 実績)	2022年度目標	2023年度目標	2024年度目標
1	二酸化炭素排出量の削減 (単位収集運搬量当たり軽油使用量原単位の削減)	(※1) 2022年実績値 17.3ℓ/t	1% 削減 14.9 ℓ/t	2% 削減 (※1)17.0 ℓ/t	3% 削減 (※1)16.8 ℓ/t
2	廃プラリサイクル量の拡大	98.4t/年 (8.2t/月)	1% 向上 99.6t/年 (8.3t/月)	2% 向上 100.8t/年 (8.4t/月)	3% 向上 102.0t/年 (8.5t/月)
3	木くずリサイクル量の拡大	(※2) 2022年実績値 590.4t/年 (49.2 t/月)	1% 向上 854.4t/年 (71.2t/月)	2% 向上 (※2)602.4t/年 (50.2t/月)	3% 向上 (※2)508.4t/年 (50.7t/月)
4	自社排出の廃棄物の削減	月平均 40 kg	現状維持	現状維持	現状維持
5	水使用量の削減	2,760㎥/年 (230㎥/月)	1% 削減 2,736㎥/年 (228㎥/月)	2% 削減 2,700㎥/年 (225 ㎥/月)	3% 削減 2,676㎥/年 (223 ㎥/月)

（※1），（※2）2022年度実績はデータのばらつきを考慮し、2020年度～2022年度平均値に１ｓ（標準偏差）分を加減した数値を実績値とし、目標値を算出した。

6．環境経営活動計画（主な施策）

①二酸化炭素排出量の削減
- ・燃費向上教育の実施
- ・エコドライブの周知徹底
- ・アイドリングストップ車両導入

②廃プラリサイクル量の拡大
- ・分別手順の検討と作成及び教育実施
- ・リサイクル処理ルートの開拓

③木くずリサイクル量の拡大
- ・分別手順の検討と作成及び教育実施
- ・リサイクル処理ルートの開拓

④自社排出の廃棄物の削減
- ・分別の徹底でリサイクルの推進
- ・意識向上の教育の実施。

⑤水の使用量削減
- ・節水教育と周知徹底
- ・分別処理場構内散水の効率的運用

7．環境経営目標の実績

（2024年4月～2025年3月までの12ヶ月の活動をまとめたものです）

No.	環境経営目標項目	基準値	2024年度目標	目標比結果	評価
1	二酸化炭素排出量の削減（単位収集運搬量当たり軽油使用量原単位の削減）	2022年 17.3ℓ/t	3% 削減 16.8 ℓ/t	30.4%削減 11.7ℓ/t	○
	二酸化炭素排出量（参考値）	2021年度 177.43t-CO_2	2024年度実績値 161.670t-CO_2	2021年度比 8.9%削減	―
2	廃プラリサイクル量の拡大	2021年度 98.4t/年 （8.2ｔ/月）	3% 向上 102.0t/年 （8.5t/月）	151%拡大 154t/年 （12.8t/月）	○
3	木くずリサイクル量の拡大	2022年度 590.4t/年 （49.2 t/月）	3% 向上 608.4t/年 （50.7t/月）	112%拡大 682.7t/年 （56.9t/月）	○
4	自社排出の廃棄物の削減	2021年度 月平均 40 kg	現状維持	月平均40 kg （現状維持）	○
5	水使用量の削減	2021年度 2,760 ㎥/年 （230 ㎥/月）	3% 削減 2,676㎥/年 （223㎥/月）	37.7%削減 1,667 ㎥/年 （139㎥/月）	○

評価の目安：　○…（目標達成）　　×…（目標未達）

【評価】

1　二酸化炭素排出量の削減（単位収集運搬量当たり軽油使用量原単位の向上）；

軽油使用量原単位目標は一昨年、年度途中で目標値の変更を行ったこともあり、2024年度活動の原単位結果は目標比30.4%削減の11.7ℓ/ｔで目標を問題なく達成できました。

次年度は新3か年計画の策定年度ですが、今回の3ヵ年計画のような年度途中で目標値の変更が起こらないように慎重に原単位目標値の試算を行いました。

今後は、過去の実績を踏まえつつ、より精度の高い目標設定を行うことで、安定した削減活動を継続できるよう努めます。

2 廃プラリサイクル量の拡大；

単月目標で未達が2回発生しましたが累積目標の未達成はなく、目標比151%拡大の154t/年（12.8ｔ/月）で、目標を達成し順調に活動を終えました。

次年度は3か年計画の策定年度です。月次で安定した廃プラリサイクル量を確保できるように努め、次年度以降も活動を推進していきます。

3　木くずリサイクル量の拡大；

一昨年、目標値を見直して2023年度活動を進捗してきました。活動結果は目標比112%拡大の682.7ｔ/年（56.9ｔ/月）で目標を達成しました。しかし、毎月の単月目標は6回も目標未達成が発生しており、月次での木くずリサイクル量の確保が不安定な状況です。

次年度の課題として捉え、油断することなく活動を推進していきます。

4　自社排出の廃棄物の削減；

主に一般廃棄物としてのオフィスごみで、月平均約40kgと量的にもごく少量であるため、現状維持を目標としています。活動は遅延なく行い、目標を達成しております。

5　水使用量の削減；

水使用量削減活動の結果は、目標比37.7%削減の1,667 ㎥/年（139㎥/月）になり、問題なく活動を終えることができましました。夏場に使用量が増える傾向は今年度も同じでしたが、目標の逸脱はなく順調に推移しました。

次年度も夏場の使用量を管理しながら、活動を推進します。

8．環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営活動計画の内容	環境経営活動計画（施策）	評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減	燃費向上教育の実施	5	継続して推進する。
	エコドライブの周知徹底	5	継続して推進する。
	アイドリングストップの徹底	5	朝礼時の呼びかけを徹底する。
廃プラリサイクル量の拡大	分別手順の教育実施	4	継続して推進する。
	リサイクル処理ルートの開拓	4	広域ルート展開を検討する。
木くずリサイクル量の拡大	分別手順の教育実施	4	継続して推進する。
	リサイクル処理ルートの開拓	4	広域ルート展開を検討する。
自社排出の廃棄物の削減	分別の徹底でリサイクルの推進	5	継続して推進する。
	意識向上の教育の実施。	5	継続して推進する。
水の使用量削減	節水教育と周知徹底	5	継続して推進する。
	分別処理場構内散水の効率的運用	5	継続して推進する。

（評価点）　５点：90%以上　４点：70%以上　３点：50%以上　２点：30%以上　１点：30%未満
（評価点は、スケジュールに対する進捗度、目標値に対する達成度、取組み内容の適切性及び推進者担当者の積極性等を総合的に判断した官能評価による評価点である。）

9．2025～2027年度　新3ヵ年計画環境経営目標

新3ヵ年計画の環境経営目標を2025年4月22日に策定しました。

2025～2027年度　環境経営目標　　2025年4月22日

No.	環境経営目標項目	基準値（※1）2024年度	2025年度目標	2026年度目標	2027年度目標
1	二酸化炭素排出量の削減（収集運搬車両の運搬量当り燃費向上）※原単位の削減	12.7ℓ/t	1% 削減 12.6 ℓ/t	2% 削減 12.4 ℓ/t	3% 削減 12.3 ℓ/t
2	廃プラリサイクル量の拡大	110.5t/年（9,2 t/月）	1% 向上 111.6t/年（9.t/月）	2% 向上 112.8t/年（9.4t/月）	3% 向上 114.0t/年（9.5t/月）
3	木くずリサイクル量の拡大	433.6t/年（361t/月）	1% 向上 438.0t/年（36.5t/月）	2% 向上 441.6t/年（36.8t/月）	3% 向上 446.4t/年（37.2t/月）
4	自社排出の廃棄物の削減	月平均 40 kg	現状維持	現状維持	現状維持
5	水使用量の削減	2,124㎥/年（230㎥/月）	1% 削減 2,100㎥/年（175㎥/月）	2% 削減 2.076㎥/年（173 ㎥/月）	3% 削減 2,064㎥/年（172㎥/月）

（※１）基準値は2024年度データのばらつきを考慮し、2024年度平均値に1ｓ（標準偏差）分を加減した数値を基準値としている。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

令和7年4月に環境関係法令等の遵守状況を確認した結果、問題はありませんでした。なお、過去５年間、関係当局からの違反及び近隣からの苦情等の指摘はなく、また訴訟もありません。

★遵守すべき主な環境関連法令は下記の通りです。

・廃棄物の処理及び清掃に関する法律　・貨物自動車運送事業法　・道路交通法

・労働安全衛生法　・浄化槽法　・埼玉県生活環境保全条例　等

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

下表は2022年度～2024年度の3か年計画目標の達成状況です。2022年度の第1年度の活動から木くずリサイクル量の拡大テーマが年間目標の未達成となり、第2年度以降の活動では目標値の変更を余儀なくされました。また、木くずリサイクル量目標値の変更は軽油原単位目標値にも影響しますので、それに伴い軽油原単位の目標値も変更せざる得なくなりました。原因は木くず処理量の変化を予測できなかったことと、目標未達月の分析が不十分であったことが要因と考えております。

表．3か年計画(2022年度～2024年度)の目標達成状況

No.	環境経営目標項目	2022年度	2023年度	2024年度
1	二酸化炭素排出量の削減 (収集運搬車両の運搬量当り燃費削減) ※原単位の削減	○	○※	○
2	廃プラリサイクル量の拡大	○	○	○
3	木くずリサイクル量の拡大	×	○※	○
4	自社排出の廃棄物の削減	○	○	○
5	水使用量の削減	○	○	○

※…目標値変更　　○…目標達成　　×…目標未達成

次年度は2025年度～2027年度の新3か年計画の策定年度で、2025年04月22日に策定しました(8頁、9. 参照)。目標値は妥当な数値が設定できたと思っております。したがって、第1年度から各テーマ目標の未達成が発生しないように月次管理をしっかり行い、スタートするよう指示いたしました。慎重に活動を推進してくれるとものと考えています。

なお、2024年度活動において環境経営目標及び環境経営計画以外の項目の変更はありません。

- 環境経営方針
- 環境経営目標及び環境経営計画（新3か年計画を策定）
- 実施体制

別表　産業廃棄物処理業等許可情報一覧表（＊NO.1～NO.14すべての許可証は優良認定取得済）

産業廃棄物収集運搬業				許可品目（●）												
＊No.	都道府県・政令市	許可番号	許可年月日及び有効期限	燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ
1	埼玉県	01101023232	2023年11月21日 2030年09月05日	●	●※2	●	●	●	●※3	●※2	●※3	●※1	●	●	●	●
2	川越市	10310023232	2023年11月24日 2030年09月05日	●	●	●	●	●	●※1	●	●※1	●※1	●	●	●	●
3	群馬県	01000023232	2022年3月17日 2029年3月16日	●	●	●			●※1	●	●※1	●※1		●	●	
4	東京都	1300023232	2022年6月12日 2029年6月11日		●※14	●	●	●	●※3	●	●※3	●※1		●	●	●
5	栃木県	00900023232	2012年6月15日 2029年6月14日			●			●※1	●	●※1	●※1		●	●	
6	茨城県	00801023232	2022年12月14日 2029年10月11日			●※10			●※11	●※12	●※11	●※1		●		
7	千葉県	01200023232	2022年8月19日 2029年8月13日		●	●	●	●	●※5	●※4	●※5	●※1		●		
8	神奈川県	01403023232	2023年11月07日 2030年08月31日		●※2	●	●	●	●※3	●※2	●※3	●※1	●	●	●	
9	長野県	2009023232	2023年2月24日 2030年2月23日	●	●	●			●※1	●	●※1					
10	福島県	00707023232	2020年6月23日 2027年6月14日	●	●	●	●	●	●※8	●	●※8 ※9	●※8	●	●	●	●
産業廃棄物処分業（中間処分）				許可品目												
11	川越市	10320023232	2021年4月19日 2028年4月4日						●					●		

特別管理産業廃棄物収集運搬業				許可品目			
No.	都道府県・政令市	許可番号	許可年月日及び有効期限	廃油（揮発油類、灯油類、軽油類に限る）	廃酸（PH2.0以下）	廃アルカリ（PH12.5以上）	廃油（廃溶剤）※13
12	埼玉県	01151023232	2023年4月3日 2030年3月31日	●	●	●	
13	東京都	1350023232	2019年10月9日 2026年10月8日	●	●	●	
14	長野県	2059023232	2024年3月28日 2031年3月27日				●

（＊）NO.1～NO.14すべての産廃処理許可証において「優良産廃処理業者認定制度」に基づく『優良認定』を取得済みです。
※1　石綿含有産業廃棄物を含む。
※2　水銀使用製品産業廃棄物を含む。
※3　石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。
※4　水銀使用製品産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く。
※5　石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く。
~~※6　石綿含有産業廃棄物を含み自動車等破砕物を除く。~~
※7　自動車等破砕物を除く。

※8　石綿含有産業廃棄物を含み自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等及び特別産業廃棄物を除く。
※9　コンクリートくずは工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。
※10　水銀使用製品廃棄物を除く。　※11　自動車等破砕物、水銀使用製品廃棄物を除き、石綿含有産業廃棄物を含む。
※12　自動車等破砕物、水銀使用製品廃棄物を除く。　※13　トリクロロエチレンを含むことにより有害なものに限る。
※14　石綿含有産廃棄物物を除く。

その他業の登録証

NO.	都道府県・政令市	許可番号	許可年月日及び有効期限	登録証種類
15	さいたま市	第167号	2025年04月01日 2027年03月31日	一般廃棄物処理業（収集・運搬業） 取扱一般廃棄物の種類 （事業ごみ・道路公園等清掃ご　み・一時多量ごみ・特定家庭用機器一般廃棄物）
16	埼玉県	Ⅱ-60	2010年9月28日 期限無し	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類再生
17	埼玉県	12440180	2022年8月15日 2027年8月14日	第１種ﾌﾛﾝ類回収業者
18	埼玉県	（登-7） 第622号	2025年6月17日 2030年6月16日	解体工事業
19	川越市	第38号	2023年10月01日 2025年09月30日	事業系一般廃棄物（ごみ） 家庭系一時多量ごみ